

2024年度まちだ市民大学HATS再構築に係る検討状況について

町田市生涯学習センターでは、2023年2月に「町田市生涯学習センター見直し実行計画」（以下、「実行計画」という。）を策定し、事業全体の見直しを進めています。

2024年度のまちだ市民大学HATSについては、他の講座に先行して「まちだの福祉講座」を対象に、実践や体験を通じて、地域で活躍する人材育成につながるようなカリキュラムへの再構築に向けた検討を進めています。

1 まちだ市民大学HATS事業再構築のねらい

市民大学の各講座を、【役割1：学びの裾野を広げる】事業と【役割3：学びを深め、活かす】事業に整理し、役割に合わせた講座形式・内容に再構築します。市民が学びに出会う機会と学習成果をいかす機会を提供することにより、学ぶ動機や求めるレベルに応じて、多様な学び方を選択できる事業を目指します。

【役割1：学びの裾野を広げる】

学びに出会う「きっかけづくり」に重点を置いた入門講座の充実へ

- ・会場、定員、実施手法を拡充
- ・一講座あたりの実施回数をスリム化
- ・新たな講座メニューを追加

（市民ニーズ調査の結果をもとに、若者・生産年齢層向け事業の実施を検討）

【役割3：学びを深め、活かす】

課題解決型・人材育成型へ

- ・ターゲット層（地域で活動したい方）を明確化
- ・地域活動の実践や体験に特化した学習機会を創設
- ・修了後の自主的な地域活動をサポートする学習ステップと情報提供

2 まちだの福祉講座再構築案

2024年度は地域で活躍する人材育成を見据えて、受講生が座学を通じて得た知識を、実際に現場等で活かしてもらう機会を取り入れた講座にしたいと考えています。

<表1> 2023年度までの講座内容と再構築案の比較

	項目	2023年度まで	2024年度※
1	講座の内容	座学及び現場見学	座学+ワークショップ（現場体験及び体験の共有）
2	テーマ	前期：安心した老後を過ごすために 後期：共生社会づくり	要調整
3	主な対象者	前期：高齢者 後期：現役世代	前期：現役世代 後期：現役世代 ゼミ：現役世代
4	実施時期	前期：5～7月 後期：9～11月	前期：5～7月 後期：9～11月 ワークショップ：1～2月
5	実施回数	前期、後期 各7回	前期、後期、ゼミ 各4回

※2024年度の各項目（講座の内容、テーマ、実施時期、実施回数）については、現時点で未確定のものです。今後、まちだ市民大学HATSまちだの福祉プログラム委員との打ち合わせ等を踏まえて変更する場合があります。

3 検討課題

「2 まちだの福祉講座再構築案」の表1に対して、まちだの福祉プログラム委員から以下の意見をいただいています。具体的な講座の内容については、まちだの福祉プログラム委員からの意見を踏まえて検討を進めていきます。

- ・2023年度までは、受講者の想定を前期は高齢者、後期は現役世代としていた。講座の再構築にあたり、特にゼミに参加してもらうことを考えると、対象としたい受講者を設定し直す必要がある。
- ・講座の実施時期や実施回数について、表1の記載を前提とするのではなく、具体的な講座の内容を検討する中で適切な時期、回数を設定する必要がある。
- ・ゼミでファシリテーターを置く場合、講座の目的や全体構成を十分に理解している人物を選定する必要がある。あわせて、参加者が十分に発言できるようにするには、参加者同士がある程度仲良くなっている必要がある。
- ・人材育成を念頭に置いて現場体験を取り入れたゼミ形式の講座とする場合、体験前より体験後の講座回数を確保するほうが効果的なカリキュラムとなる。
- ・他機関で実施している福祉関係の講座では、主催者側のねらいと受講者の受講動機にミスマッチが生じているケースもみられるため、気を付ける必要がある。